

- 新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- 正しい施工をしていただくため当説明書をお読みください。
- 積雪地域でのご使用は避けてください。
- 強風時には補助柱（別売…… $\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)RSP\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)HP_{HPL}$ ）をご使用ください。

■規格・拾い出し表

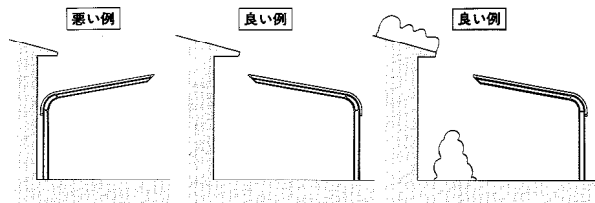
名称	記号	単体				合掌				連棟				梱包内容
		L=48 D=24	L=54 D=27	L=48 D=24	L=54 D=27	L=48+L=48 D=24	L=48+L=54 D=27	L=54+L=48 D=24	L=54+L=54 D=27	L=48+L=48 D=24	L=48+L=54 D=27	L=54+L=48 D=24	L=54+L=54 D=27	
柱	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-P$					2	2	2	2	2	2	2	2	柱 (3)
梁	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-LP$					2	2			2	2			梁 (3)
	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-D24$					2	2			2	2			
側枠・たる木	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-T248$					2								たる木(9) 押え材(7) 側枠(左右各1)
	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-T278$					2								
	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-T249$						2							
	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-T279$							2						
連棟たる木	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-RT248$											1		たる木(8) 押え材(8)
	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-RT278$											1		
	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-RT249$												1	
	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-RT279$												1	
横部材	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-L488$					2	2			2	2			前・後枠(各1) 母屋(3) たて樋(1)
	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-L549$											2	2	
柱・梁ジョイナー	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-RJ$					2	2	2	2	2	2	2	2	柱・梁ジョイナー(3)
	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-SRJ3$													
標準部品箱	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-BOX8$					2	2	2	2	1	1	1	1	前枠ベース(3) 横材ブラケット(12) 梁キャップ(3) 前枠キャップ(左右各1) 後枠キャップ(左右各1) アンカー棒(3) 後枠シーラー(2) $\phi 4 \times 12$ トラスタッピン(3) ボルトM8×20(3)・M12×115(6)・M12×145(6) 平座金M8用(3)・M12用(2) スプリングワッシャーM8用(3)・M12用(2) ナットM8用(3)・M12用(2) 雨樋部品セット(1) 水抜きキャップ(1) M4×10トラスビス(2) 取扱説明書(1) 取扱注意(1) $\phi 4 \times 16$ ビス(5) ゴムワッシャー(115) $\phi 4 \times 12$ セムスビス(115)
連棟部品箱	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-RLBOX8$									1	1	1	1	前枠ベース(3) 横材ブラケット(12) 梁キャップ(3) アンカー棒(3) $\phi 4 \times 12$ トラスタッピン(3) ボルトM8×20(3)・M12×115(6)・M12×145(6) 平座金M8用(3)・M12用(2) スプリングワッシャーM8用(3)・M12用(2) ナットM8用(3)・M12用(2) 雨樋部品セット(1) 水抜きふさぎ(1) 水抜きシーラー(1) M4×10トラスビス(2)・(20) 連結用後枠ブラケット(1)・前 枠ブラケット(1)・母屋プレート(3) 連結カバー前枠用(1)・後枠用(1) あて紙(1) 取扱説明書(1) コーキングチューブ(1) $\phi 4 \times 16$ ビス(4) ゴムワッシャー(103) $\phi 4 \times 12$ セムスビス(103)
合掌部材	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-RD48$					1	1							合掌部材 A・B (各2)
	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-RD54$													
合掌部品箱	$\left(\begin{smallmatrix} C \\ H \\ S \end{smallmatrix}\right)R-RDBOX$					1	1	1	1					合掌ブラケットA(6) ボルトM8×80(6) 袋ナットM8用(6) 平座金M8用(12)・M4用(1) $\phi 4 \times 10$ トラスタッピン(17) コーキング材(1)
屋根葺材	CR-A2484(B)	2	2	4	4	4	4							アクリル板 (4)
	CR-A2784(B)	2	2	4	4	4	4							
	CR-A2481(B)							2						
	CR-A2781(B)							2						
合計 梱包数		8	8	9	9	18	18	20	20	16	16	18	18	

■工事店様へのお願い

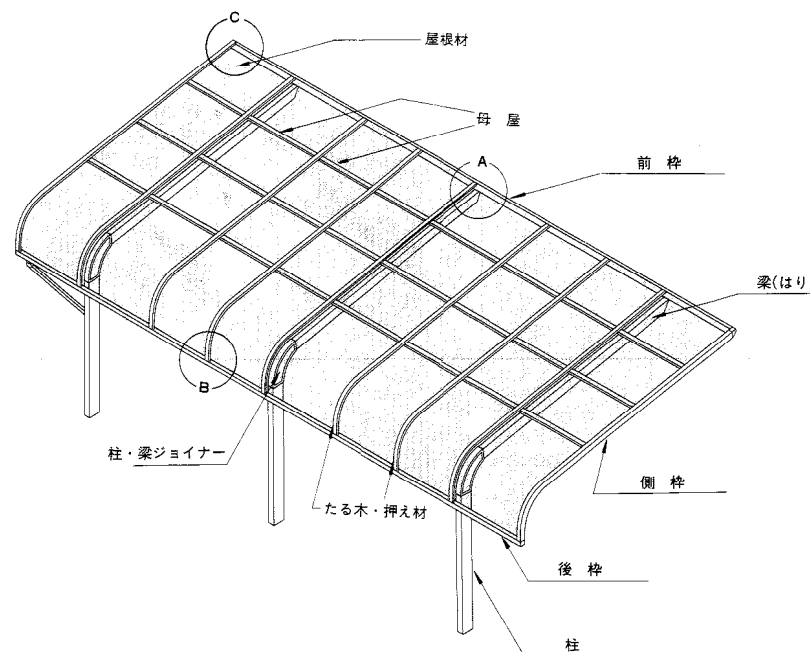
- 新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意して下さい。
- (1) モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用して下さい。
- (2) モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意して下さい。抽出液はアルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- (3) モルタルやコンクリートの急結晶は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用して下さい。
- (4) 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃して下さい。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意して下さい。
- (5) アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにして下さい。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をして下さい。
- (6) 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生して下さい。
- みだりに改造等の仕様変更は避けて下さい。
- 施工終了後、説明書は施主様へお渡し下さい。

■施工上の注意

- 強風時、屋根がおおられるのをさけるため、前枠を建物側にむけて施工して下さい。
 - 強風時には、補助柱（別売）をご使用下さい。
- ※但し雪の降る地方では、大屋根からの落雪を避けて施工して下さい。

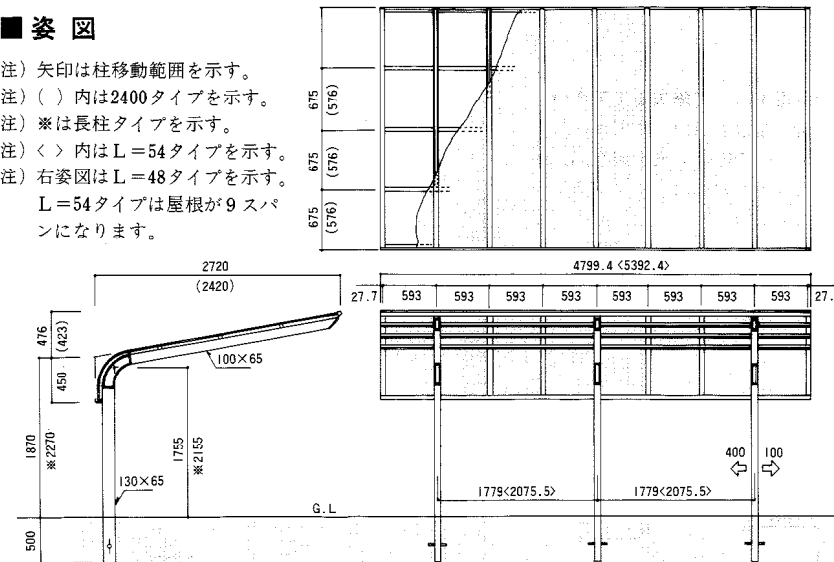


■部材名称

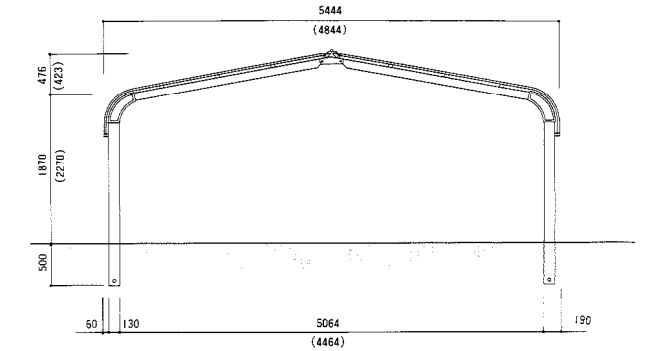


■姿図

注) 矢印は柱移動範囲を示す。
注) () 内は2400タイプを示す。
注) ※は長柱タイプを示す。
注) < > 内はL=54タイプを示す。
注) 右姿図はL=48タイプを示す。
L=54タイプは屋根が9スパンになります。



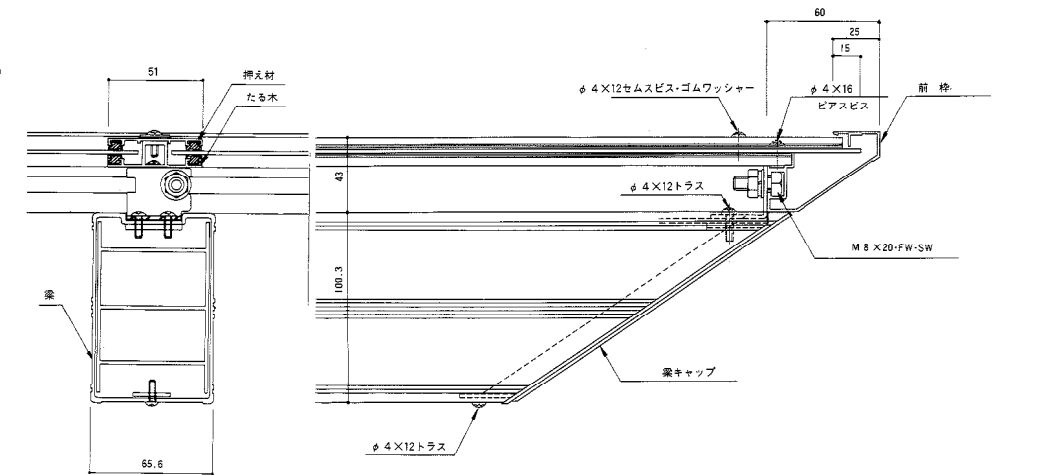
■合掌タイプ姿図



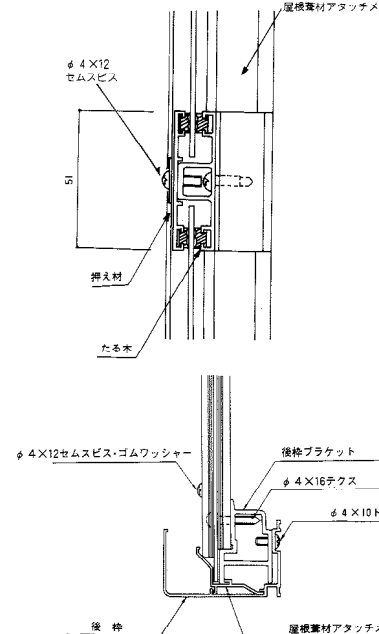
■お施主様へのお願い

- 屋根には足を掛けたり、登ったりしないで下さい。
- 積雪20cmを越えないうちに雪おろしをして下さい。
- 風当りの強い場所、積雪の多い場所では補助柱（別売）をご使用下さい。

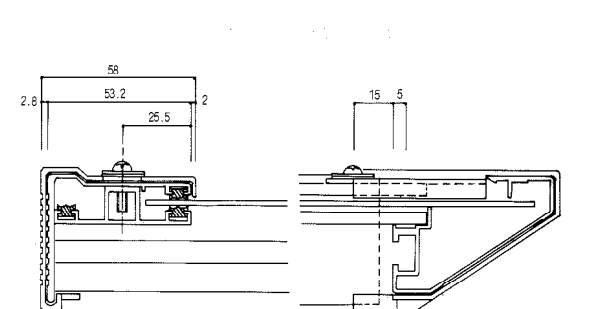
■梁・前枠納まり図 (A部)



■後枠・たる木納まり図 (B部)



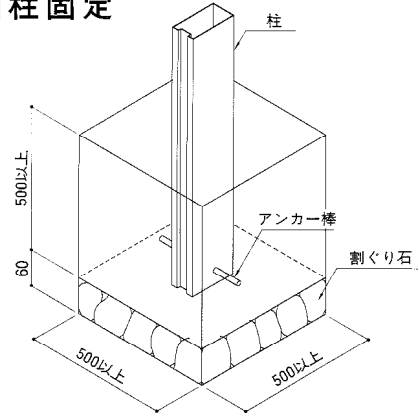
■側枠・前枠納まり図 (C部)



取付順序

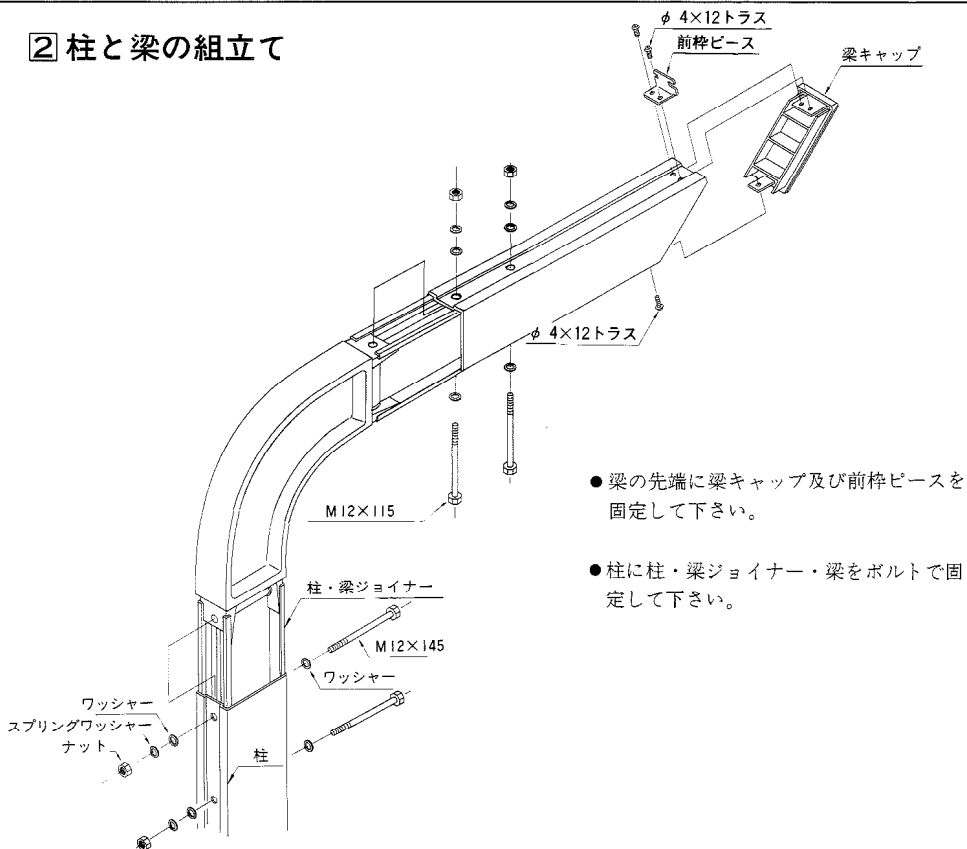
■取付順序を一読してから組立ててください。

① 柱固定



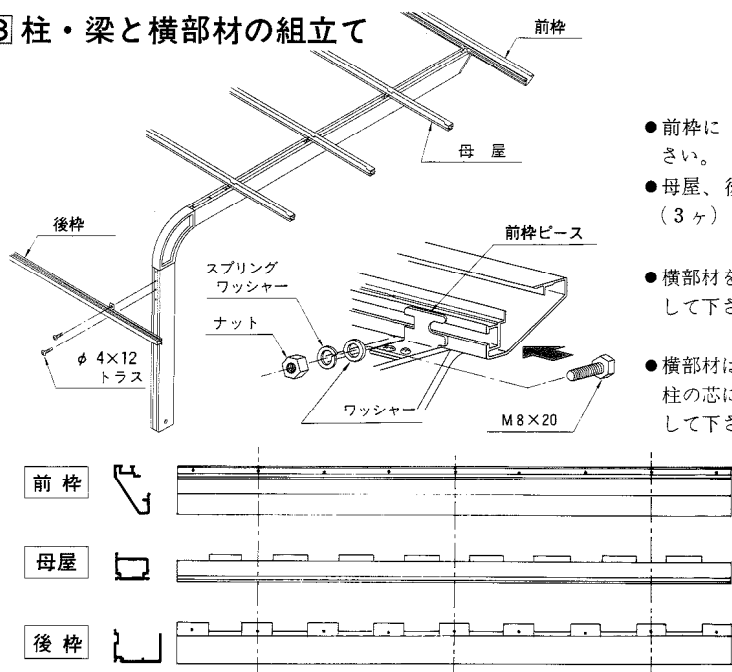
- 屋根（種）に水勾配をつけて施工して下さい。
- 柱固定位置は表面の姿図を参照して下さい。
- 柱は左図埋め込み深さ560mmの穴を掘り、60mm割ぐり石を入れてつきかためた上でコンクリートで固定して下さい。

② 柱と梁の組立て



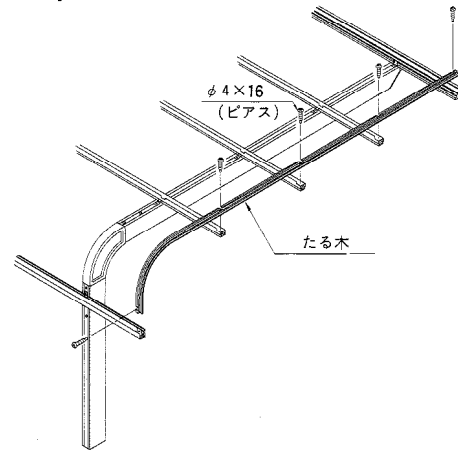
- 梁の先端に梁キャップ及び前枠ピースを固定して下さい。
- 柱に柱・梁ジョイナー・梁をボルトで固定して下さい。

③ 柱・梁と横部材の組立て



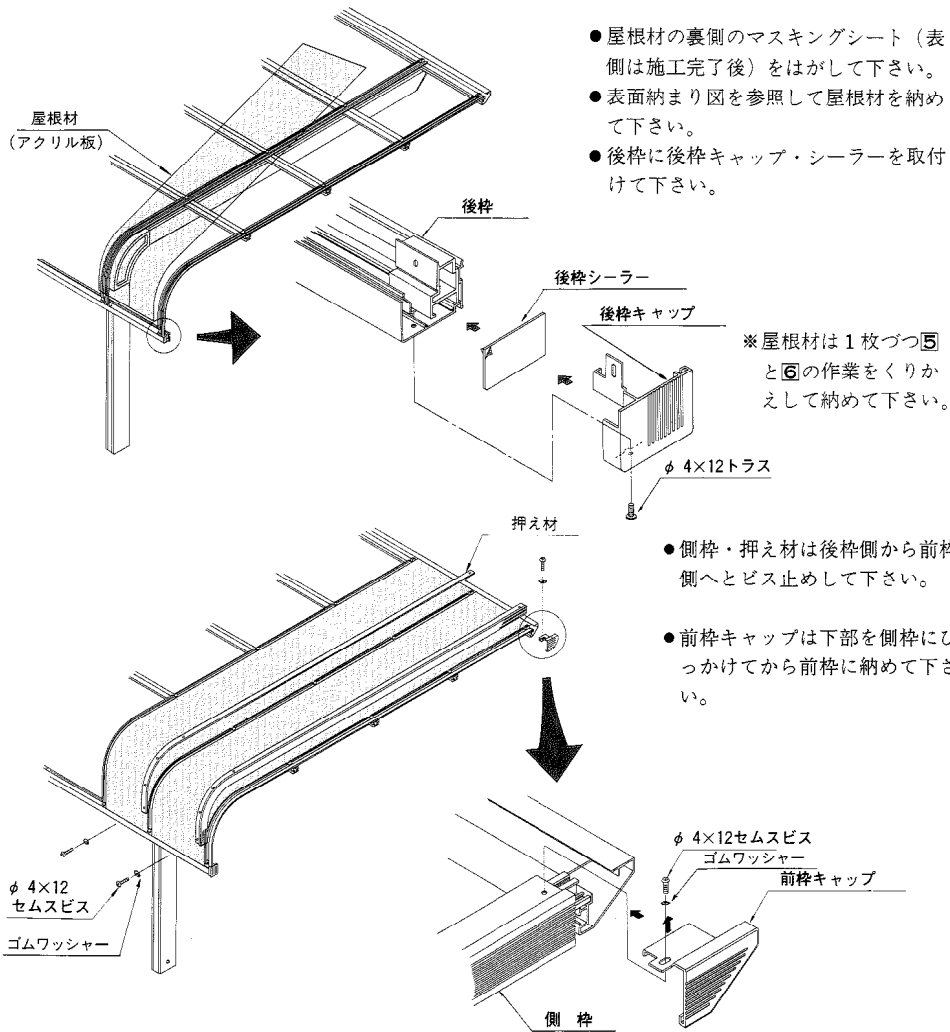
- 前枠に（3本）差し込んで下さい。
- 母屋、後枠に横材ブラケット（3ヶ）を差し込んで下さい。
- 横部材をビス、ナットで固定して下さい。
- 横部材は左記の加工芯が各々柱の芯にくるようにして固定して下さい。

④ たる木の組立て



※たる木の取付けは、後枠、前枠、母屋の順で行なって下さい。
ビスはφ4×16ピアスビスを使用します。

⑤ 屋根材の組立て

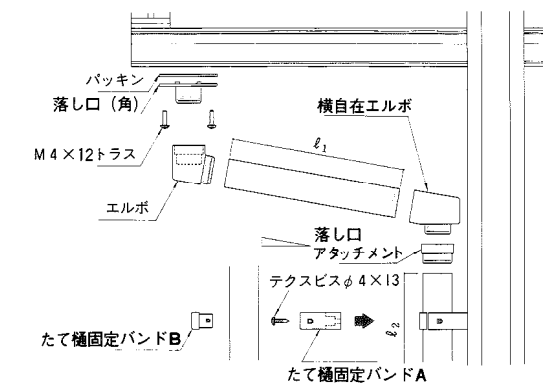


- 屋根材の裏側のマスキングシート（表側は施工完了後）をはがして下さい。
- 表面納まり図を参照して屋根材を納めて下さい。
- 後枠に後枠キャップ・シーラーを取付けて下さい。

※屋根材は1枚づつ⑤と⑥の作業をくりかえして納めて下さい。

- 側枠・押え材は後枠側から前枠側へとビス止めして下さい。
- 前枠キャップは下部を側枠にひっかけてから前枠に納めて下さい。

⑥ 雨樋の組立て



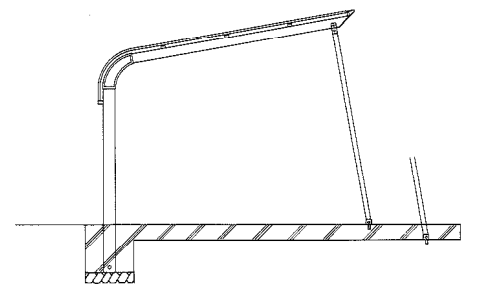
- 整樋の長さ（ l_1 、 l_2 ）は現場合わせで切断して下さい。
- 雨樋は仮組みしてから接着材を使って組立てて下さい。
- 使用しない側の穴にはキャップ及びビスを取付けて下さい。

■合掌部の組立て（合掌タイプのみ）

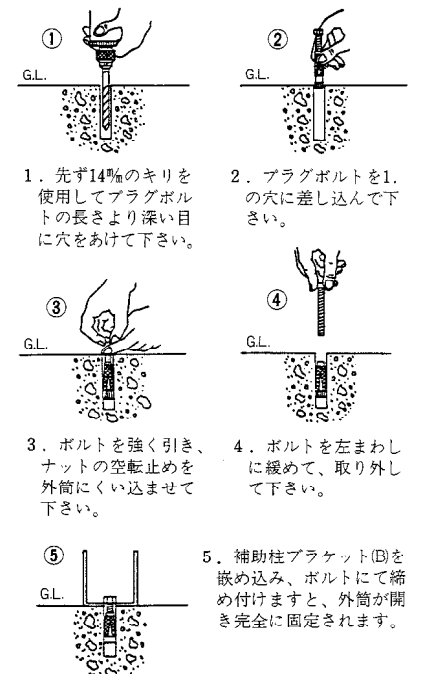
合掌部品箱(①) SRDBOX内の説明書をご覧ください。

■補助柱の組立て（別売品）

- 補助柱は長くなっていますので、取付位置確認後、切詰めして下さい。
 - 所定の位置にAYプラグボルトを打込んで、補助柱固定ブラケット(B)を固定して下さい。
 - 補助柱に補助柱上部固定ブラケットをつけ、梁の取付位置再確認後下穴9mmをあけてください。
 - 補助柱をしっかりボルトで固定して下さい。
- (注) 補助柱を埋込む場合は、ブラケット(B)、AYプラグボルト共に埋込んで下さい。



AYプラグボルト使用方法



(注) プラグボルトを取り除く場合、一応ボルトを奥へ押し込んでから引き抜いて下さい。